

平成 25 年度国立大雪青少年交流の家第 3 回施設業務運営委員会広報部会議事要旨

日時：平成 25 年 11 月 25 日（水）13:30～15:30

場所：国立大雪青少年交流の家多目的研修室

運営委員出席者：山中部会長，地田委員，尾崎委員，松倉委員，村上委員  
笠井施設業務運営委員会委員長（オブザーバー）

計 6 名

欠席者：前田委員

計 1 名

国立大雪青少年交流の家出席者：三上所長，澤田総務係長，松浦企画指導専門職，遠藤総務係主任，  
谷崎事業推進室主任，安藤事業推進室主任，平間事業企画専門職員，  
入江管理係員，中島事業推進室員

計 9 名

（●事務局 ○部会長 □委員）

●開会宣言

会議時間・資料確認，委員紹介，欠席委員の報告，施設業務運営委員会広報部会担当職員の自己紹介。

●事務局

最初に，本日配付した月別団体数及び利用者数比較表（H24/H25）

施設別・利用者アンケート集計結果一覧，当施設を利用されての総合的な満足度に基づき説明。

●部会長による議事進行

○部会長

それでは議題 1 点目の議事にはいる。

<議題> 1 取り組み報告・成果と課題（第 2 回広報部会をふまえて）

●事務局

前回の広報部会において，いただいた意見を参考に取り組み状況を説明した。

○部会長

前回部会での意見等をふまえ，どのような取り組みを実施したか事務局より説明があった。

特に，プレスリリースの内容について，事務局から補足説明と各委員から質問や意見をお願いしたい。

●事務局

プレスリリースする際、前回の部会において、「全国で初めての」のようにインパクトのある事業でないと取り上げてもらえないとの意見があったが、確実に実施できていない。

管理運営部会においても、「フェイスブック」については有効利用についての意見があった。

ある事業で、その日の様子を「フェイスブック」に掲載したところ、保護者から意見があった。

□委員

担当記者の方へ事前に告知することが必要。

土曜・日曜は記者が少ないため。取材は難しい。

○部会長

「フェイスブック」について継続運用の提案があったが、承認をいただきたい。

□各委員

承認

○部会長

議題2点目の議事にはいる。

企業誘致について（具体的な方策の検討）事務局から説明をお願いしたい。

<議 題> 2 企業誘致（具体的な方策の検討）

●事務局

これまでの取り組みと、企業向け研修の「パッケージプラン」について説明。

○部会長

事務局から企業誘致に関わる取り組みと、成果の説明があった。質問も含めて、協働と参画の観点から、より良い具体的なプランをここで協議したい。

□委員

取組継続することが必要。

□委員

現在、職人と言われる人材が少ないので「職人育成プラン」を作成してみてはどうか。

地元の商工会でも、地元で職人を育てる取り組みを検討している。

○部会長

雇用プラン、後継者の育成、ジャンル別職業体験のプランも考えられる。

□委員長

「パッケージプラン」のプログラムは、大雪のノウハウを活かしている。  
ただ、中小企業大学校でも色々な研修プログラムを組んでいる。宿泊もできる。  
中小企業大学校そこすみ分ける必要がある。

□委員

専門的な人のつながりも無くなってきているので、複数の企業を集めて意見交換するプログラムも良い。

□委員

中小企業大学校でも、人集に苦労していると聞いている。各協会とのパイプ役はできる。

□委員

職員を、中小企業大学校の研修に参加させたが、参加料金が課題。

□委員

建設業協会への大雪の利用案内PRをはじめ、各協会へのPRが効果的ではないか。

□委員

上記で述べた各協会への訪問はしたのか。

●事務局

訪問していない。

○部会長

本件で協議されたプランをこれまでどおり、旭川商工会議所の季報への記事掲載、登録MLへの発信、北海道教育庁上川教育局、上川23ネット（家庭教育サポート企業）登録企業への案内を継続していく。また、委員の皆さんのネットワークからも広報していただき、積極的に事務局へ提案していただくとともに、プランの「講師」についても提案していただきたい。

○部会長

議題3点目の議事にはいる。

新たな専門学校と大学への取り組み（具体的な方策の検討）について事務局から説明をお願いしたい。

<議 題> 3 新たな専門学校と大学への取り組み（具体的な方策の検討）

●事務局

誘致活動の取り組み状況について資料に基づき説明。

○部会長

専門学校、大学等の誘致の取り組みについて説明があった。

積極的に質問、意見をお願いしたい。

今回の部会では、専門学校や大学等への誘致活動にあたり、これまでの取り組み内容について意見をいただき、修正を加えること。誘致訪問先に対する意見、追加訪問先など加えることについての意見をいただきたい。

□委員

関東圏の女子大学へ広報活動し、誘致してみてはどうか。

「ヤマガール」などターゲットを絞り、地元的美瑛町や商工青年団との協力も有効。

●事務局

立地的に旭川空港、旭川駅に近く、観光地として「富良野、美瑛」に近い。実現したい。

□委員

国際交流事業について概要を説明いただきたい。

●事務局

大学の留学生と日本の青少年を対象とした事業で、お互いの歴史や文化などを知ってもらうことを目的とした事業。

第1回目は、9月に「茶道」、第2回目は、2月に「書道」を使ったプログラムを予定している。アジア圏の留学生も多いので、雪を使ったプログラムも検討している。

□委員

旭川にも相当数の外国人が来ている。

第1回目の事業での、参加国は。また、参加大学を教えてください。

●事務局

中国、モンゴル、韓国、ベトナム、フィリピン、マレーシア。

大学は、北見工業大学、北翔大学。

□委員

北海道教育大学は、国際交流に力を入れている。留学生もベトナム、タイ、韓国、中国等からきている。

国際交流委員会という組織があるので、コンタクトをとってみてはどうか。

○部会長

取組内容や訪問先について事務局は内容を調整し、誘致活動を開始してほしい。

○部会長

議題4点目の議事にはいる。

「平成25年度業務実績に係る自己点検評価」（上半期）について事務局から説明をお願いしたい。

<議 題>4 平成25年度 業務実績に係る自己点検評価（上半期）

●事務局

国立大雪青少年交流の家「平成25年度業務実績に係る自己点検評価」（上半期）に基づき説明。

○部会長

事務局から業務の実績に係る自己点検評価についての説明があった。

本件は、上半期の状況として設定した目標の進捗度を計り、下半期に向けての努力事項を確認することに併せ、機構本部へ説明する予定。

内容を確認いただき評価の原案について承認いただきたい。

□各委員

承認

●事務局

12月4日（水）に機構本部において「管理運営の在り方等に関する調査研究協力者会議」が開催される。その時に、進捗状況の説明を求められていることから、添付資料として自己点検評価表を提出したい。また、評価基準も今後作成していきたい。

○部会長

議題5点目の議事にはいる。

その他 ホームページ（以下HP）HPにおける情報公開について事務局から説明をお願いしたい。

<議 題>5 HPにおける情報公開

●事務局

HPにおける公表すべき情報についてに基づき説明。

○部会長

事務局からHPにおける情報公開について説明があった。

国立大学等は学校教育法施行規則にのっとり、HPで情報公開している。一方で、国立青少年教育振興機構には、情報公開項目についての規程が定められていない現状が報告された。

公開する項目、内容について事務局の提案について意見・質問をお願いしたい。

□各委員

他の施設の状況はどうなっているか。

●事務局

他施設は、利用手引きを抜粋したものをHPに掲載している。

□各委員

見やすく掲載する必要がある。

全国28施設、統一したもので掲載できないのか。

例えばアクセス方法のページなども工夫が必要。ジャンル別にするとか、わかりやすく優先順位を決めて作成する必要がある。

○部会長

委員からの意見をもとに、事務局は内容を修正し、情報公開していくことで承認いただきたい。

□各委員

承認

会議終了

閉会挨拶

閉会宣言